

年末年始について

裏磐梯で散策する際は防寒着・スノーブーツ・着替えなどの準備があると安心です。
また、自家用車でお越しの際はスタッドレスタイヤでお越しく下さい。

2022年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 休館	7	8	9	10
11	12	13 休館	14	15	16	17
18	19	20 休館	21	22	23	24
25	26	27 休館	28	29	30	31 大晦日

2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
元日						
8	9	10 休館	11 休館	12 休館	13 休館	14
	成人の日					
15	16	17 休館	18 休館	19 休館	20 休館	21
22	23	24 休館	25	26	27	28
29	30	31 休館				



休館

代替休館中(10日~13日、17日~20日)は公衆トイレは使用できません。
五色沼入口観光プラザをご利用ください。

Twitter やってます

裏磐梯ビジターセンター
@urabandai_vc

今日の裏磐梯は散策日和のお天気です。ビジターセンター駐車場は7割ほど埋まっています。気温がかなり落ち込んでいます。お出かけの際は防寒をしっかりとってお越しく下さい。
#裏磐梯 #裏磐梯ビジターセンター #福島 #紅葉

午後10:53 - 2022年10月27日 - Twitter Web App

👤 裏磐梯ビジターセンター

裏磐梯の自然やみどころについて最新情報を発信中！
フォロー・いいねをお願いします

@urabandai_vc

レンタルグッズ

レンタルグッズ	料金
長靴	¥500
スノーシュー (冬期間のみ・大人)	¥1500
スノーシュー (冬期間のみ・子供)	¥1000

今年度のクマ鈴レンタルは終了致しました。

- ・貸出時間はビジターセンター開館~閉館まで。
- ・日付をまたいだレンタルはできません。



冬のわくわく
スノーシュー体験を開催予定!

冬のイベント開催時期・料金についてはウェブサイトをご確認ください。



web(HP) Instagram Twitter

裏磐梯だより

No.116
2022年11月



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



裏磐梯図鑑 No.31

違いはあるの? カエデとモミジ

自然解説員の巡視日記

小野川不動滝探勝路

ようこそビジターセンターへ

子どもパークレンジャー開催

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰 1093-697

【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/

【入館料】無料 【開館時間】9:00~17:00(4月~11月) / 9:00~16:00(12月~3月)

【休館日】毎週火曜日(祝祭日のときはその翌日、年末年始・GW・夏休み期間は無休)

違いはあるの？

モミジとカエデ

葉の大きさはすべて 50%

▶ヒトツバカエデ

◀ウリハダカエデ

◀イタヤカエデ

▲カラコギカエデ

▲ハウチワカエデ

▼コミネカエデ

▼イロハモミジ

裏磐梯の秋はあっという間に過ぎ去り、雪の季節が近づいてきました。今回は身近な植物、モミジとカエデについて調べてみました。

紅葉と漢字で書いて「もみじ」とも読む通り、秋の紅葉の主役と言えばモミジのイメージが強いのではないのでしょうか。

一般的に、切れ込みの深い葉をモミジ、切れ込みの浅い葉をカエデと呼んでいます。さて、両者に違いはあるのでしょうか。

まずは言葉の由来をみましょう。「もみじ」は草木の色が揉み出されてくる意味の「揉み出」が「紅葉つ・黄葉つ」と変化したとされます。紅葉狩りの歴史は古く、奈良から平安時代に貴族の行事として愛されていたようですが、特定の植物を指してはいませんでした。

一方、カエデは「蛙手」が転じたとされ、葉の形が由来のようです。文化的には色や形で区別していることがうかがえます。



では、生き物としての違いはどうでしょうか。写真にある7種類のカエデ・モミジは現在主流となっている、APG 植物分類体系* (DNA 塩基配列分析による新しい分類) では全て、『ムクロジ科カエデ属』に分類されています。

結論としては、モミジもカエデも同じ、『ムクロジ科カエデ属』のなかまに分類されていますので、生物としては、違いはないということになります。

散策の際、樹木の図鑑を片手に木々の葉や落ち葉を観察してみると、覚えきれないほどたくさんの樹木が身の回りであることに気づかされます。裏磐梯ビジターセンターの展示でもご紹介しているので、ぜひご覧ください。

*AngiospermPhylogenyGroupの略。被子植物系統グループ研究者集団 APG により、1998 年に最初に発表。その後 2003 年、2009 年および 2016 年に改訂されており、それぞれ APG I、APG II、APGIII、APGIVとよばれる。

旧説の「クロンキスト体系」は現在も広く使われているものの、おもに見た目の特徴を比較して類縁関係を推定していたため、APG 分類体系になって分類が大きく変わったグループもある。

自然解説員の巡視日記

小野川不動滝探勝路



厳冬期の小野川不動滝「ブルーフォール」



降雪期の雪に埋もれた鳥居 (探勝路入口)



ガソリン機関車と小野川不動滝 昭和 11 ~ 12 年頃撮影
出典：「裏磐梯」国立公園指定 50 周年誌編纂委員会



不動尊が祀られた高さ約 25m の名瀑「小野川不動滝」まで、自然と歴史を楽しみながら歩くコースです。小野川不動滝探勝路と小野川湖畔探勝路は、大正 14 年から昭和 24 年までこの地域を走っていた森林鉄道 (トロッコ列車) の軌道跡を探勝路に利用しています。トロッコ列車は、デコ平周辺で伐採された木材や木炭などを猪苗代町へ運び出し、生活物資を猪苗代町から運んできていたそうです。現在、滝の前に架かる橋は、かつてトロッコ列車が渡っていた橋の石積みをもそのまま使用しています。他にも探勝路の所々に、橋台や擁壁の石積み、切通し (堀割) などがあり、トロッコ列車が走っている姿を想像しながら歩くことができます。

探勝路の入口は 3ヶ所あります。A 駐車場からのコースは約 800m、鳥居を潜って歩き始め、途中 143 段の石段を上り軌道跡にでます。B 駐車場からのコースは、木道が損壊しているため、現在は通行止めになっています。C 駐車場からのコースは約 1.2km、軌道跡の雰囲気が多く残っています。

新緑～紅葉の時期の景色はもちろんですが、厳冬期に滝の周囲が凍結し「ブルーフォール」と呼ばれる光景も一見の価値があります。ただし、裏磐梯では例年 1～2m の積雪があり、探勝路は雪に隠されてしまうので、スノーハイキングの経験がない場合やコースを熟知していない場合は、ガイドツアーへの参加をお勧めします。

小野川湖畔探勝路は、8月初めの大雨で沢に架かる橋が流失したため、残念ながら通行止めになっています。

環境省裏磐梯自然保護官事務所主催 『2022 磐梯朝日国立公園

子どもパークレンジャー 四季の彩りと生きものたちの秘密』を開催!



Welcome

10月8日(土)に県内から12名の小学生が集まり環境省主催の『子どもパークレンジャー』が開催され、パークボランティアの方々、当館スタッフがサポートにあたりました。午前にはレンゲ沼・中瀬沼探勝路で自然観察を中心にレンジャー(自然保護官)からのミッションの解決にあたり、午後は当館でまとめを行い、ポスター発表をしました。作成されたポスターは当館に掲示してあります。今回のイベントを通し、レンジャーの仕事を経験し、裏磐梯の自然に親しむことができました。